

令和5年

全員協議会記録

令和5年11月2日

朝霞和光資源循環組合議会

開会日時 令和5年11月2日（木曜日）

午後2時00分 開会 午後2時28分 閉会

開催場所 和光市役所3階 全員協議会室

出席議員 10名

議長	富澤啓二	議員	副議長	獅子倉千代子	議員
2番	須田義博	議員	3番	石原茂	議員
4番	岡崎和広	議員	5番	斉藤弘道	議員
7番	待鳥美光	議員	8番	安保友博	議員
9番	鳥飼雅司	議員	10番	鎌田泰春	議員

欠席議員 なし

出席説明員

柴崎光子	管理者
富岡勝則	副管理者
紺清公介	会計管理者
永野淳	事務局長
森田一広	事務局次長
高野晴之	施設課長
飯泉博明	施設課長補佐

事務局職員

岩瀬美保	書記長
永峯孝之	書記
進藤直人	施設課主任

本日の会議に付した案件

朝霞和光資源循環組合ごみ広域処理施設整備・運営事業 再度公告入札に係るスケジュール等について

午後2時00分 開会

◎開会の宣告

○富澤啓二議長 皆さん、こんにちは。

ただいまから、全員協議会を開催いたします。

◎管理者挨拶

○富澤啓二議長 初めに、管理者から挨拶をお願いいたします。

柴崎管理者。

○柴崎光子管理者 皆様、こんにちは。

議員の皆さまにおかれましては、ごみ広域処理施設整備事業の推進に関しまして、日頃から格別の御理解と御協力を賜りまして、ありがとうございます。また、大変御多用の中、組合議会定例会前ではございますが、全員協議会を開催いただきまして、ありがとうございます。

本日は、8月28日に書面にて御報告させていただきましたごみ広域処理施設整備・運営事業の入札中止を受けまして、今後の対応について構成市と調整を図り、再度公告入札に係るスケジュール等についての方針を決定しましたので、御報告させていただく次第でございます。

詳細につきましては、事務局から説明させていただきますので、どうぞよろしくお願いたします。

○富澤啓二議長 ありがとうございます。

◎協議事項

○富澤啓二議長 それでは、本日の案件1件について、事務局から説明をお願いします。

高野施設課長。

○高野晴之施設課長 それでは、再度公告入札に係るスケジュール等について御説明をさせていただきます。

資料につきましては事前に配付させていただきましたA3横カラー刷りの「朝霞和光資源循環組合ごみ広域処理施設整備・運営事業再度公告入札に係るスケジュール等について」を御覧ください。

まず初めに、経過でございますが、令和5年4月7日付朝霞和光資源循環組合告示第4号により公告しました朝霞和光資源循環組合ごみ広域処理施設整備・運営事業に係る総合評価一般競争入札におきまして、令和5年8月25日付で入札辞退届の提出があり、入札参加者が不在となったため、8月28日に本件入札の中止を公告し、組合議会議員の皆様及び構成市に対して、書面にて御報告をさせていただいたところでございます。

その後、当組合では、再度公告入札に係るスケジュール等について検討をさせていただきまして、構成市との調整が整いましたので、本日、全員協議会を開催いただき、方針等について御説明をさせていただくものでございます。

資料の説明に入る前に、入札参加者の辞退理由について、改めて御説明させていただきます。こちらにつきましては、昨今の建設業の需要状況により、土木建設工事の単価が上昇していること、また、電気設備等の下請企業を確保することが困難であり、協力企業から適切な見積りを入手することができなかつたため、事業費が大幅なコスト増となり、入札額が予定価格を超過したことが辞退の理由と伺っているところでございます。

それでは、資料の説明に入らせていただきます。

1、スケジュール等の見直しの要点を御覧ください。

スケジュールの検討に当たりましては、見直しの方針を設定しておりますので、始めに御説明させていただきます。

1点目としましては、再度公告入札の手続については、新たに参入を希望する企業にも配慮したスケジュールとさせていただき、引き続き競争性の確保に努めるものとしております。再公告の時期は令和6年4月を、提案書や入札書の提出期限は令和6年8月末を予定しておりますが、事業に参入するためには、提案書や図面等の作成、事業費の積算、また協力企業の編成などに多くの時間を要することから、十分な期間を確保することとしております。

次に、2点目といたしまして、建設工事の週休2日制を前提とした設計・建設期間を設定させていただいております。建設業界の働き方改革を推進する上で、労働基準法の改正に伴う時間外労働の上限規制が令和6年4月から建設業においても適用されるのに合わせまして、原則全ての公共工事に対して週休2日制を導入することが求められております。構成市に確認をさせていただいたところ、令和6年度から週休2日制を導入する予定で調整を進めていると伺っておりまして、本事業においても同様の対応が必要になるものと考えております。このことから、工事現場において土曜日と日曜日を休所した場合であっても、十分な工期設定となるよう、設計・建設期間を4年から5年に、1年延長させていただいているところで

ございます。

3点目といたしましては、当初、入札時の質問回答の内容や構成市における令和4年度決算を踏まえ資料の更新を行うとともに、事業者に対しまして再度見積調査を実施させていただき、予定価格を精査するものとしております。

そして4点目として、直近類似事業における落札価格の調査、また物価高騰の状況把握を行い、予定価格を再設定するものとしております。

次に、再公告準備期間と必要作業等について御説明させていただきます。

入札の再公告につきましては、入札中止から起算して約7か月後の令和6年4月を予定しております。事業内容の見直しに約2か月、再見積りの徴取に約2.5か月、予定価格の検討に約2.5か月の準備期間をいただいているところでございます。

次に、再公告時の公表資料の作成でございますが、入札説明書、要求水準書、添付資料などの修正を行い、併せて予定価格の精査を行ってまいります。また、事業者選定手続の進捗に応じて、事業者選定委員会を開催する予定としております。

第4回の選定委員会は令和6年2月中旬の実施を予定させていただき、再公告資料の確認や審議を行い、第5回の選定委員会は令和6年9月下旬に予定し、提案の予備審査を、第6回の選定委員会につきましては令和6年10月下旬に予定させていただき、第5回に引き続き提案審査を行い、入札書の開札を経て、総合評価の結果、最優秀提案者の選定を行ってまいります。

次に、手続の時期及び運営期間等について御説明いたしますので、下の表を御覧ください。

中央には当初スケジュール、左に見直し後のスケジュールを記載しております。

まず、入札公告につきましては、当初スケジュールでは令和5年4月上旬としておりましたが、再度公告入札では令和6年4月上旬とさせていただき、当初と比較して1年の遅れとなっております。

契約締結につきましては、当初、令和6年2月上旬を予定しておりましたが、再度公告入札では令和7年2月上旬とさせていただいておりまして、こちらにつきましても当初と比較して1年遅れとなっております。

そして、施設の竣工につきましては、当初、令和10年3月末とさせていただき、令和10年度の稼働を予定しておりましたが、再度公告入札では令和12年3月末となり、令和12年度の稼働を目指すものとなりますので、竣工は当初と比較して2年遅れ、選定手続で1年、設計・建設期間で1年の延長となっております。

次に、ごみ広域処理施設の運営期間でございますが、こちらは、当初と同様の20年間で、変更はございません。

また、予定価格につきましては、不調となった要因を踏まえ、内容を精査した上で、見直しを行うものとしてございます。

次に、2の工程表を御覧ください。

こちらにつきましては、上の段に再度公告入札のスケジュール、下の段に当初スケジュールを対比して記載をさせていただいております。繰り返しの部分もございますが、説明させていただきます。

再公告の準備には約7か月間を予定させていただき、事業内容の見直しに約2か月、再見積りの徴取に約2.5か月、予定価格の検討に約2.5か月とし、再公告資料の作成に必要な準備期間をいただいております。また、事業者選定には約7か月間を予定しておりますが、新たに参入を希望する企業にも配慮し、当初の予定と同様に、入札公告資料に対する質問や回答、入札参加資格の審査、対面的対話、提案書や入札価格の審査などを行うための期間を確保させていただきたいと考えております。

最後に、新施設の稼働時期につきましては、入札公告及び本契約の締結が当初の予定より1年、そして、設計・建設期間が1年の延長となることから、2年遅れの令和12年度となる見込みでございます。

資料の説明は以上となりますが、引き続き競争性の確保に留意しながら、適正な選定事務の執行に努めてまいりますので、引き続き御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

以上です。

○富澤啓二議長 この件について、御意見、御質問等がございますでしょうか。

鳥飼議員。

○鳥飼雅司議員 今、説明がされたのですが、改めて確認させていただきたいのが、各手続の時期というところが再度公告入札というものと、当初というものが表で出されているのですが、竣工に当たっては2年の遅れとなっていて、再公告準備期間は1年、そして設計・建設期間の延長となるということで1年ということで、2年なのですが、通常でいけば1年、1年、1年で、1年でできるのではないかと思うのですが、これが2年になった理由をもう少し詳しく教えてください。

○富澤啓二議長 高野施設課長。

○高野晴之施設課長 再公告入札に向けた、まず準備期間というところで、当初、本年度の4月に公告をさせていただきまして、入札辞退の段階、中止の段階で既に半年が経過しております。再度公告入札を実施するに当たりまして、予定価格の精査、また仕様の再検討ということで、そこから半年間は準備期間をいただいている関係で、公告の時期が1年遅れている状況になります。それと併せまして、建設工期、契約をしてから工事が竣工するまでの期間、当初約4年間で予定しておりましたが、週休2日制の関係で、土曜日を休所するとおおよそ約1年間の延長になりますので、1年と1年を合わせまして、稼働が2年遅れるということでございます。

○富澤啓二議長 鳥飼議員。

○鳥飼雅司議員 あともう1点伺いたいの、資金面で、この2年間遅れる、また竣工するのも、実際に稼働するのが12年度からということですが、今現在それぞれの市に炉があって、それで稼働しており、それを延ばさないといけない、また人件費もかかってくるというところで、その辺の影響というのがどれくらい出てくるのか教えてください。

○富澤啓二議長 高野施設課長。

○高野晴之施設課長 今回、入札の中止に伴いまして、今、御指摘いただきましたとおり、構成市が運用している既存のごみ焼却施設の稼働期間が延長することになってまいります。その間の運転経費、また修繕料等の確保、こちらについてはお願いをしないといけないということで、今回このスケジュールを再度設定するに当たりまして、構成市との協議を何回か設けさせていただきながら、いざというときのリスクヘッジをどのように取っていくか、そういったことについても同時に検討していただきながら、具体的にはそういったことがないことが一番望ましいとは思っておりますけれども、そういったことも念頭に置きながら維持管理を進めていただくということで共有させていただいたところでございます。

また、建設工事の費用についても、これから予定価格の見直しを行う方向での検討をしていきますけれども、当初よりも高くなる可能性も当然ございます。一方で、建設工事については4年から5年に延びるということで、単年度ベースの事業費というのは幾らか平準化によって下がる可能性もございます。引き続き組合としましては、特定財源としての交付金について、改めてこちらも環境省との協議が必要になってまいりますけれども、引き続き十分にこちらの財源を充てられるように調整、協議をさせていただきながら、構成市とも情報共有させていただき、事業のほうをしっかりと進めていきたいと思っております。

○富澤啓二議長 ほかに御質問等ございますか。

齊藤議員。

○齊藤弘道議員 前提となる入札辞退ですけれども、先ほど説明があったとおり、工事単価が上昇していること、もう一つ、協力企業の見積りが取れなかった、これは個別の事情だと思うのですが、大幅に超過しているというのは、幾らというのはもちろん聞いていないと思うのですが、大体どれくらいの感覚なのか。こちらが予定していたものの何倍なのかということ。それがこの先、情勢が変わるとしても、何年か後にはそういう形になっていくという見通しにつながるので、その辺りをお知らせいただきたいのと、あともう一つは、そもそも最終的には1者になってしまった、その辺りの経過ももう1回確認させていただきたいのですが、最終的には入札時にはもう1者しか残ってなくて、その1者が結局辞退したということだと認識しているのですが、先ほどの説明の中でも、競争性の確保ということが言われているわけですけれども、その中でスケジュールの配慮というのがありますが、それ以外、それも含めてですが、具体的に、今のその状況下の中で、どうやって参加できる企業を増やしていくのか。そのための努力というのはどのように考えているのかというのを教えてください。

○富澤啓二議長 答弁願います。

高野施設課長。

○高野晴之施設課長 事業費がどのぐらい、当初の予定価格よりも高かったのかというところについては、具体的には聞いていないのが正直なところでございます。今回、辞退の理由の一つに、建設資材の高騰というところもございまして、下請企業の確保が困難だったということ。こちらについて、我々としてはかなり重要な課題であると思っております、やはり今回、電気設備等というお話が辞退届の中にございまして、下請が担保できないと、どうしてもインハウスと言って、元請のほうでやらないといけない。そういったときに、コストというのはリスクコストも含めて高積みされてくるということもございまして、そういったことで今回、1者で当然やれる事業ではありませんので、複数企業の積み重ねによる見積りがかなり影響していたのではないかとこのように感じている次第でございます。

今後、再見積りを取って、また近隣事例も含めて、再度、予定価格の設定をさせていただきますけれども、慎重に適正な価格を見極めていけるように努力していきたいと思っております。

また、1者となった経過ということでございまして、令和5年4月に入札公告をしているわけですが、それより2年前、令和2年度から検討を進めている中で、当初、

複数者、関心を持っていただいて、質疑回答でありましたり、メーカーヒアリング、市場調査をやっている状況でございます。その中では、事業条件についての御意見もいただきながら、少しでも事業に参入しやすい要求水準書、また、事業条件というものを精査させていただきながら進めてきたところでございます。

しかしながら、入札公告後、参加表明自体が4月に公告をして5月下旬だったのですが、参加表明の段階で1者の参加表明ということで、その時点で初めて、事務局としては1者ということが把握できた状況でございます。当然のことながら、対外的には何者参加表明が来ているかという情報については当然出していないわけですが、最終的に入札公告後にそういった状況になってしまったということについては、事務局としても大変残念に思っているところでございます。

今後、1者ではなく、競争性が確保される事業条件というものを当然検討していく必要があると思っておりますので、入札中止後に、プラントメーカーに対してヒアリングをさせていただいております。その中でどういったことが今回参入障壁になっていたのか、そういったことについてもヒアリングをさせていただきながら、今、分析をしているところでございます。

最終的に複数者応札していただけるかどうかというのはなかなか分かりかねるところでございますが、プラントメーカーの御意見をまた再度聞かせていただいておりますので、そういったことも踏まえて、再度公告入札に向けて進めていきたいというふうに考えております。

○富澤啓二議長 齊藤議員。

○齊藤弘道議員 分かりました。

それで、先ほどの説明の中で、最初に何者か来た質問の中でも、この事業内容の見直しに係る部分があるというお話だったと思うのですが、それも含めて、今、検討中かとは思いますが、事業内容の見直しをこの10月までやってきたと、このスケジュール表ではなっているので、もう少し具体的に、どういうところが、先ほどの障壁、どのようなところがあったのか。

また、下請の話が出ていましたけれども、そこが障壁となると、今のところでは地元のところと組んでやってくれということも、もしかしたら変わってきてしまうのではないかと思っているのですが、その辺りはどのようなことになるのですか。もう少し具体的な中身を教えてください。

○富澤啓二議長 高野施設課長。

○高野晴之施設課長 事業内容の見直しというところでございますけれども、一番大きな点で申しますと、ヒアリングをした結果、やはりプラントメーカー、ゼネコンを含めて工期の設定のところというのが大きな課題としてございましたので、今回御説明させていただいているスケジュールの中で1年工期を延長しておりますが、週休2日制の影響プラスアルファ、少し余裕を持った工期設定をさせていただいているところでございます。

また、下請の企業確保ということが課題という中で、地元要件の話が出ましたけれども、今回の事業につきまして、当然、地元企業要件というのは定めておりますが、決して過度な条件設定をしているわけではございませんので、これがネックになって事業に影響があるところまではないというふうに考えているところでございます。

○富澤啓二議長 齊藤議員。

○齊藤弘道議員 分かりました。

あと、先ほども出ていましたが、今後、予定価格が変わるというのはもちろんですが、それまでの間の経費というのはどれぐらい積み増さなければならない、かかるのかということと、先ほど両市の影響で壊れてしまうとか、そういうリスクの話はありましたけれども、今、検討してもらっている最中なのかもしれないですけども、大体、同市でさらに費用がどれぐらいかかるのかというのは、原因者がこちらですから、構成市にどれだけ費用の負担をその部分でもしてこななければならないかというのはつかんでいればお聞かせください。

○富澤啓二議長 高野施設課長。

○高野晴之施設課長 今回の入札中止に伴いまして追加となる事務局側の経費ということで申し上げますと、今、事業者選定支援業務ということで、業務名としては基本計画策定等業務という委託を契約させていただいているのですが、そちらについて、令和6年度についても延長させていただくということで、そちらが追加になる予定でございます。

あと、構成市の炉の維持管理費の増加というものについては、具体的に幾らというところはなかなか今お答えしにくいところもあるのですが、両市ともに大規模な制御系の機器については更新済みということを伺っておりますので、基本的には年間の維持管理経費というのが継続してかかってくるものという認識でおります。何かこの後、大きな改修工事をやらなければもたないという状況ではないと思っておりますので、予防保全をしながら引き続き炉の管理をしていただくということで、今後も何かあれば情報をいただきながら、一緒になって考えていきたいと思っております。

○富澤啓二議長 齊藤議員。

○齊藤弘道議員 分かりました。ありがとうございます。

あとは、両市民への説明をどのようにしていくのかということについてお聞かせください。
今回、議員に対してはこういう形で説明があったんですけども。

○富澤啓二議長 高野施設課長。

○高野晴之施設課長 本日、全員協議会で御説明させていただいた後、全員協議会の内容の公表も含めて、ホームページ、また12月の広報に組合として幾らかページの枠をいただいておりますので、その中で中止があったということと、稼働が2年遅れるということについて周知していきたいと思っております。

○富澤啓二議長 ほかに御質問ございますか。

安保議員。

○安保友博議員 ここで1点、ちょっと一般論的な話になってしまうかもしれませんが、先ほど地元要件というところで、その部分がネックになっているところまでは言えないというようなことでもあったのですが、逆に、これは和光市は特によく言われていることで、地元の業者が参入できる工事が少ないということを言われている中で、競争性の確保というのは、もちろん出ていくものを減らすという意味ではすごく大事なことで、大事な視点ではあるものの、逆に多少高かったとしても、地元の業者をそこで活用するというのが、逆に仕事の幅を広げたりとか、例えば今回、不調になってしまったものを、金額はともかくとしても、実際に工事までこぎ着けることができる可能性というのが、今後この見直しを前提ですけども、そういうことも考えられるのかなというところもちょっと思ったので、その辺も含めて、地元、和光市と朝霞市の地元業者の活用について、今後その見直しの段階でそういう協議をしていくことができるのかどうか、その辺の確認だけお願いしたいと思います。

○富澤啓二議長 高野施設課長。

○高野晴之施設課長 地元企業への配慮という点で申し上げますと、現状、当初入札の中におきましても、入札説明書の中で、地元人材の雇用への配慮、また、下請等の選定について、地元企業の選定に努めるよう規定させていただいております。また今回、総合評価一般競争入札ということで、落札者決定基準、こちらは今、公表しているものもございますけれども、その中で地元企業の活用、また地元雇用、地元からの資機材の調達等について評価項目とさせていただいております。その中でプラントメーカーには積極的な提案を求めていきたいというふうに考えてございます。

他事例では、出資まで求めるといった条件を設定しているような自治体もありますけれども、そういったところはかなりハードルが上がってしまうと。逆に地元企業を押さえないと出られないというようなこともあったりします。そういった参入障壁があるような仕様にはなっていないと思っておりますので、その中で地元企業をできる限り活用していただきながら、地域活用につながっていければいいのかなというふうに思っております。

○富澤啓二議長 ほかにございますか。

鎌田議員。

○鎌田泰春議員 競争性の確保という観点で、当初から1者になってしまっていた。ここが今回の全てゼロに、白紙に戻ってしまう最大の要因であると思っております、これを増やしていく取組というのは、先ほどの日数であったり、価格の見直しというふうにされてきたけれども、今回1者になってしまった、この要因についてはどのように考えられていますでしょうか。

○富澤啓二議長 高野施設課長。

○高野晴之施設課長 プラントメーカーにヒアリングもさせていただいているところではありますが、1者となってしまった理由として、様々なものが考えられると思っております。まず今回の事業につきまして、安全性、安定性を確保するといった施設整備基本計画の基本的な考え方がございますので、同様の実績があるプラントメーカー、こちらを参加条件として設定しております。プラントメーカーにつきましては、全国でもかなり数が少ないということもありまして、参入要件を加味しますと、全国で10者に満たない程度ということで、そもそも競争性というものがかなり難しい事業になっているということがございます。

あとは近年、建て替えとなる廃棄物処理施設、こちらがかなり増加をしております、およそ年間20件ほど発注がございます。このあたりもかなりピークを迎えております、そういったことから、1年かけて事業者選定を行っていく事業でありますので、プラントメーカーとしても、具体的な検討をするに当たってのハードルというものがそもそも高いというところもございますので、受注できる可能性等を考えながら、地域性も考慮して、応札いただいているのかなと思っております。

そういった中で、できる限り競争性が担保できるような発注条件というものを組んでいかなければいけないと思っておりますけれども、その中で最終的には事業者の考え方によってきてしまうところがあるのかなというふうに思っております。

○富澤啓二議長 鎌田議員。

○鎌田泰春議員 ありがとうございます。

あともう1点、今回のように価格が上がってしまうなど、この長期の工事というのは様々な予測不可能なリスクがあるかと思います。そういった部分に対応するという観点で、契約の時点で例えば価格をある程度幅を持たせるなど、そういったことというのは可能なのでしょうか。

○富澤啓二議長 高野施設課長。

○高野晴之施設課長 今回の事業でありましたり、またPFI事業等でも同様ですけれども、物価変動等に伴う対応というのは常に考えなければいけないところでございます。今回の事業で申しますと、入札説明書の中でも規定をしておりますが、設計・建設業務における物価変動については建設工事請負契約約款にも規定がありますスライド条項がございますので、そちらを適切に対応していくということで考えております。

また、運営期間についても、今回20年間ということでございますけれども、年1回、物価変動の状況を踏まえて次年度以降の価格の見直しを行うことを条件として組み込んでおりますので、20年間、ずっと同じ価格でやっていただくというものではございませんので、しっかりと配慮して対応していく必要があると思っております。

○富澤啓二議長 よろしいですか。他に御質問ございますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○富澤啓二議長 以上で本日の協議事項は終了しました。

◎閉会の宣告

○富澤啓二議長 これにて全員協議会を閉会します。ありがとうございました。

午後2時28分 閉会

議 長 富澤 啓二

副議長 獅子倉 千代子